

編集後記

日日草の題字は私たちをこの地に呼んでくださった故角川町長に書いていただいたものです。皆様ご存知のように浅井町の花が日日草でした。あざいリハビリテーションクリニックとしての日日草はこれが最終号ですが、いろり庵から日日草は発行し続けますのでよろしくお願いたします。

あいち診療会はあざい訪問看護ステーション、いろり庵をこのまま続けます。これからは浅井東診療所の松井先生と協力して上草野の医療福祉が充実し、地域包括ケアのモデルになれるように頑張ります。浅井東診療所も私たちも皆様に育てていただく必要があります。今後よろしくお願いたします。



あいち診療会の運営施設



あいち診療所 滝の水
■外来（内科・小児科） ■在宅医療



あいち診療所 野並
■外来（内科・小児科） ■在宅医療
■通所リハビリテーション
■生活習慣病自己管理センター



憩いの学校
■重度心身障がい児・者受け入れサービス



憩いの庄
■複合型サービス



あざい訪問看護ステーション
■訪問看護
■訪問リハビリテーション



のなみ訪問看護ステーション
■訪問看護
■訪問リハビリテーション

のなみ居宅介護支援事業所
■ケアプラン作成

いろり庵
■グループホーム

社会福祉法人幸せづくり研究所の認可申請中であり
2017年に愛知県弥富市で特別養護老人ホームの開設を予定しています

にに草

2014年9月号
第91号
あざい
リハビリテーション
クリニック
長浜市野瀬町828番地
TEL0749(76)8111
平成24年9月30日発行

上草野のこれから

■鐘の音

10年間この上草野に寝泊まりして、完全に根の生えた住民にはなれませんでしたが、自分自身の人生の中では、成熟してみなざるエネルギーを持つ50代前半から、少し老いを理解できそうな還暦を過ぎた今までこの地に暮らせたことはありがたいことだと思っております。

東京に生まれて30年暮らし、名古屋で20年暮らした後の初めての田舎での生活でした。この上草野では沢山の人の出会い、たくさんの思い出をいただきました。

この土地のことが分からず、朝の散歩で高山まで歩いたり岡谷まで歩いたりしましたが、2日前に歩いた神社の境内に同じ時刻に熊が出てけがして診療所に運び込まれた方がいて、怖くなって朝の散歩をやめたこと、雪に埋もれ、捨て場の無くなった雪を軽ト

理事長 畑恒土

ラに乗せて草野川まで捨てて行ったことなども今となつては楽しい思い出の一つになりました。

今日食べるものを今日買って食べる都会の生活に慣れた私にとって、漬物をおいしくする為に柿の皮を干すなど、半年後、1年後の食事の準備をする姿に接することは、自分がいかに多くの人の支えで生きているのかを改めて知る機会になりました。

生活の厳しさは、人間関係の大切さを教えてくれます。一つ一つの出会いの中に都会では失われた生活の豊かさを感じ、住むのならこんなところだと思ふに至っています。

私が上草野で一番好きなのは朝です。6時前に住んでいる旧浅井東診療所を出て川の近くまで行くと、四方から鐘の音が聞こえてきます。ゴーンという太い響きからカーンという軽い音、それも忙しそうに鳴る鐘から時を測つ

■地域包括ケアのモデルに

最近盛んに地域包括ケアと言う言葉が飛び交っています。財源に限りがあり医療保険や介護保険だけでは対応できなくなった為と考える人もいますが、本当はそうではありません。費用がかからなくするためには、要介護者を1か所にまとめて、それも大部屋で面倒を見る昔の特別養護老人ホームのようなところをたくさん作った方が効果的です。

私たちはそんなところで人生の最後を過ごしたいとは思いません。私たちが年老いても、体が不自由になっても、自分の意思を尊重され幸せに暮らせるために実現しなければならぬのが地域包括ケアなのです。

いろり庵の名前は私が付けました。多くの人が望む「いきいきころり」からとらせていただきました。多くの方が人の世話にならない生き

方（死に方）がしたいと言います。世話になることは決して悪いことではありません。生まれた時から多くの方に世話になり、いつも多くの方のおかげで生活が出来てきたのです。今まで何人の方の世話になったのか数えきれません。でも全く役に立たない存在にはなりたくないと思います。いつも誰かの役に立っていたと思います。だから誰でも誰かの役に立てる地域であってほしいと願っています。地域包括ケアの目標は、誰もが何らかの役割が果たせる、そんな地域だと思います。

この地域は「おこないさん」が残り、誰かが亡くなると葬式をみんなで行う地域であり、地域の助け合いが残っています。地域包括ケアはこのような助け合いが力を発揮するシステムのことを言います。しかしエレベーターホールが出来て葬式を家であげることが少なくなり、「おこないさん」もどんどん簡素化される流れにあります。

物質的な生活が豊かになればなるほど人間関係が希薄になっていくことは都会の生活が証明しています。この地域が今後、物質的にも人間関係の上でも豊かな地域に発展することを願います。

認知症セミナー



認知症の知識向上に、職員含む地域の人たちに学んで頂くため年1回開催していました。

筋力トレーニング教室



オープン当初より地域の人たちが元気になる様に丹羽 Dr. の指導の元に始め、2014年5月まで実施しました。

ほたる祭り

「草野川のホタルを見よう！」と企画したものです。



医師 岡崎 嘉樹

あざいに行かんようになって、せんだいになります。あざいのおじいさんおばあさん、まめにされていますか。私も名古屋であんばいようしています。9月中旬といえば、稲刈りもしまえ、かんらんや白菜の種を蒔く頃と思われまます。暑い夏も終り、雪なふりするまでの一番いい季節ですね。

以前にもお話ししましたが、私の祖母は滋賀県伊香立郡の出でした。あざい

に寄せてもろて一番良かったのは、祖母に似た顔や話し方のおばあさんにたくさんお会いできたことです。お宅に伺うて、「だんだないで」とか「おサルが来るで、かなん」とかいろいろなお話をしてくれたことを懐かしく思い出します。

これから寝しまや起きしなは、さぶなりまますので、お体に気をつけてください。血圧が高くなったら、ういことです。またお会いする日まで、ごきげんよう。

看護師 西室 愛子

わたくしは平成18年4月から19年3月まであざいリハビリテーションクリニックで訪問看護を1年させていただきました。2年ほどブランクがありましたが21年10月再度単身赴任することになりました。雪かきの経験なく、吹雪の中脱輪して迷惑をかけました。

平成18年の1年間は滋賀県と愛知県の間でギャップに戸惑い、21年からはそれでも安定してきたと思っていました。

現在はグループホームいろいろ庵にいます。この地が好きで琵琶湖も大好きな私の夫がクリニックで肝臓癌と診断を受けました。平成26年1月愛知がんセンターに1か月半入院、その後クリニックの寮で在宅ケアを受けました。

入院はなにより嫌でしたから、訪問看護、在宅医療に守られ子供や兄弟とも話しながら、5月1日苦しむことなく他界しました。理事長、理事の温かい支援を受けながら逝けたこと、職員の皆さんの声援に感謝しています。

ケアマネージャー 中堀 千賀子

ケアマネジャーとして7年間、本場にいろいろなことを考え、学ぶことができた時間でした。この地域の皆様が自分を持って力を最大限に発揮して、自分らしい生活を何とか続けようとするお手伝いをさせ頂き、自然と共存する力とその大切さを感じる事が出来ました。この経験を生かして精進したいと思えます。この地域の皆様にご心より感謝申し上げます。また、一晩で車が埋まるほど雪が降って、朝起き

るのが恐ろしかったり、ホテルの群衆の神秘的な光景を見ることができたり、採れたての野菜を美味しくいただいたり、さまざまな思い出が浮かんできます。正直なところ、名古屋と浅井の2重生活は大変でした。でも、お別れだ…と心底さみしくなる感情は起こりませんでした。それは、いつでも顔を見に来ることができるといふ確信があるからだと思えます。もう一つ故郷が出来ました。お元気で、再会できることを楽しみにしています。

お世話になりました

介護職員 岸江 文明

名古屋から普通に狸・狐・猿・鹿・猪・熊（普通じゃないか？）道端で出会うあざいに赴任し4年余りお世話になりました。

赴任当初は在所名も道もましてや利用者様のお顔・お名前も覚える事すら儘ならずご迷惑をお掛けし、クリニックに隣接する寮（至楽荘）の部屋で夜な夜なひとり涙しておりました。（大袈裟？）

然しながら利用者様はもちろんスタッフの方々にも助けられ何とか乗り越え

る事ができました。

あざいでは春夏秋冬・四季折々の自然と触れ合い季節の旬の食材を食し、デイケアでは季節に応じたレクリエーションを利用者様と共に笑い、楽しみ最高の時間を共有することが出来ました。利用者様一人一人のお顔・お名前は未だ忘れず時折思い出しては懐かしんで涙で枕を濡らしております。（これも大袈裟？泣いてはっかりだネ）

長い短い期間でしたが、地域の皆様のおもてなしに感謝致しますと共にご健康とご多幸を心よりお祈りします。

施設長 笹岡 真由美

平成15年東診療所で開業されていた小林医師が閉院することになり母親の主治医でもあった畑医師が後任を務めることになりました。それに伴いわたくしが、再開院に加わりました。それがいのちとくらしを守る地域づくり。あざいに於ける地域包括ケアの始まりでした。地域的には滋賀県長浜市の北のはずれのやま（金糞山）ひとつ越えろと岐阜県です。そんな、過疎地、高齢化率その頃で19%でした。伊吹山の麓の小さな山間にある村です。冬は雪

が2階の屋根まで積もる豪雪地、そして、独特の文化、風習を残しています。寺院を守り発展させることが、医療や食費よりも最優先でした。この十年間は、笑ったり泣いたり連続でした。そのお陰かこの地が好きになりました。夜、空を見上げると星を手で捕まえられそうな気持ちになります。地域の人たちとも仲良くさせていただきました。とても感謝しております。あざいりハビリテーションクリニックは移行しますが、グループホームいろいろと訪問看護はそのまま残ります。今後ともよろしくお祈りします。

事務長 藤本 隆浩

事務長をしております藤本です。約8年前に名古屋よりこちらへ転勤してまいりました。当初は、地域性の違いなどに戸惑いながら日々勤務しており、務まるのかどうか不安にかられておりました。家庭もあることから、愛知県より通勤ということ、勤め初めは長時間の移動に大変な思いをしておりましたが、月日を重ね、夜間飛び出してくる鹿や猪の時間帯や、冬季の雪道の走り方もわかり、また、こちらの地方の風習の地藏盆なども体験し、徐々にではありますが、地域や役職になじんできてまいりました。しかしながら、諸事象により9月末日

をもちましてこちらを離れる事となりました。地域の皆様から暖かい言葉を頂戴する機会が多く、何度も救っていただきました。若輩者の私に手を差し伸べていただいた皆様本当に有難うございました。文章にて失礼かとはおもいますが、この場をかりてお礼申し上げます。また、異動にはなりましたが、グループホームならびに訪問看護ステーションが残り、そちらの手続きなどでこちらに何う事があるかと思えます。見かけたその時は気軽に声を掛けただければ幸いです。末筆ながら地域の皆様のご多幸を愛知の地よりお祈り致しております。

今後ともよろしくお祈りします

歯科医 時田 優

大変お世話になりました。平成21年6月より平成26年7月までの五年間あざいりハビリテーションクリニックでの歯科診療を担当させていただきました。クリニックにお世話になる話は、赴任の前年9月に恩師、加藤武彦先生から滋賀県長浜市の高齢者が進み医療を受けるには交通機関も少なく、通院には大変苦労している地域でクリニック内で歯科診療を手伝わないかというお話でした。

この時、滋賀県長浜市という地域についての知識は皆無に等しいもので、とても迷うばかりでしたが、畑先生、藤村さんとお会いし、何度かあざいりハビリテーションクリニックを訪れ、翌年、平成21年6月よりクリニックにお世話になり、診療を開始することとなりました。長浜、浅井の生活は風光明媚な琵琶

湖、百名山の伊吹山、歴史の街、四季折々の変化に心癒される中で歯科診療でした。また、冬の雪の多さ、野趣あふれる環境は新鮮であり驚きの日々でした。この地域の人達の気さくさや優しさにつれ、この地の事を色々教えていただきました。

来院される患者さん方は高齢な方も治療、予防にはとても熱心に通院されるのには頭が下がります。微力な私でしたが、私がこの地を去る事で口腔の健康が気になるところですが、日頃の自己ケアで健康を維持されることを祈ります。

最後に、受診していただいた患者さん、地域の皆様、畑先生はじめ、あいち診療会理事の皆さま、各科の先生、看護師さん、スタッフの皆様には公私に渡り大変お世話になり、貴重な経験もさせていただき、感謝するばかりです。次のステップにはこれまでの経験を活かす所存です。有難う御座います。

いろいろ遠足



当グループホームに入所している人達との交流と、利用者さんに楽しんでもらうために年1回職員のボランティアで実施しています。行き先は湖北地域が中心です。



夏祭り

名古屋よりのボランティアとしてグループホームへ参加して頂き、敷地内でキャンプして交流をはかりました。



運動会

デイケア職員とデイケア利用者の交流の為、年1回7日間続けて行っているものです。



琴音会

ボランティアで琴の演奏をしていただき、デイケア、GHの利用者さんが参加して楽しみました。



中学生職場体験

職場体験を通して福祉を学んでいただくために日常的に受け入れをしています。



すいか割り

通所リハ行事

利用者様の活性化をはかるため、デイケアスタッフが毎月行っているものです。



いりり庵行事

毎年小学校との交流会は年2～3回続けていました。
上草野小学校が閉校の報を聞き、いりり庵主催で子供たちを招待しました。



文化祭

湖北GH協会を通し、GH体育館にて、他のGHとの交流をはかり、ボランティアでチンドン屋が来ました。



敬老会

家族と一緒に敬老会で祝いました。



職員が企画し、GHとデイケアの利用者さんに寸劇を見ていただきました。

